



あなたの、いちばんであるために。

やましん

山梨信用金庫経営企画部

〒400-0032 甲府市中央 1-12-36

TEL 055-225-0213

ホームページアドレス

<https://www.yamasin.jp/>

中小企業景況レポート 2024 年 4～6 月期 No.66

2024.7.16 発刊

■ 調査要領 ■

- 調査対象
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120 社
- 調査時期・期間
調査時期：2024 年 6 月 3 日～7 日
調査期間：今期実績 2024 年 4 月～6 月
来期見通し 2024 年 7 月～9 月
- 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
- 分析方法
D I を中心に分析
- 特別調査
「中小企業における災害等への対応について」

■ 調査対象と回答状況 ■

業 種	企 業 数	回 答 数	回 答 率
製 造 業	28	27	96.4%
卸 売 業	15	12	80.0%
小 売 業	17	17	100.0%
サービス業	26	26	100.0%
建 設 業	23	20	87.0%
不 動 産 業	11	11	100.0%
合 計	120	113	94.2%

※ D I (Diffusion Index) とは

各質問事項で「良い（増加）」とした企業割合－「悪い（減少）」とした企業割合の構成比との差（判断 DI）による分析です。例えば、回答が以下のような場合の DI の算出方法は、次のとおりです。

（例）「良い・やや良い」の回答が 50%、「変わらず」の回答が 30%、「悪い・やや悪い」の回答が 20%の場合

DI は $50「良い・やや良い」 - 20「悪い・やや悪い」 = +30$ となります。DI 値が高いほど景気が良いことを示しています。

業 況 判 断 D I

業 種	前 期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	D I	良い	悪い	D I
総 合	▲8.5	22.1	30.0	▲7.9	20.3	24.7	▲4.4
製 造 業	▲32.2	14.8	55.5	▲40.7	18.5	40.7	▲22.2
卸 売 業	▲13.4	16.6	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0
小 売 業	5.9	11.7	23.5	▲11.8	17.6	17.6	0.0
サービス業	4.0	34.6	30.7	3.9	26.9	30.7	▲3.8
建 設 業	4.7	30.0	15.0	15.0	30.0	10.0	20.0
不動産業	▲18.2	18.1	27.2	▲9.1	9.0	27.2	▲18.2

業 種 別 景 気 天 気 図

業 種	前 期	今 期	見 通 し
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小 売 業			
サービス業			
建 設 業			
不動産業			

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、
正確性・完全性を保証するものではありません。

※回答数：国中地区 64 社、東部地区 31 社、相模原周辺地区 18 社

31 以上	11～30	10～▲10	▲11～▲30	▲31 以上

概 況

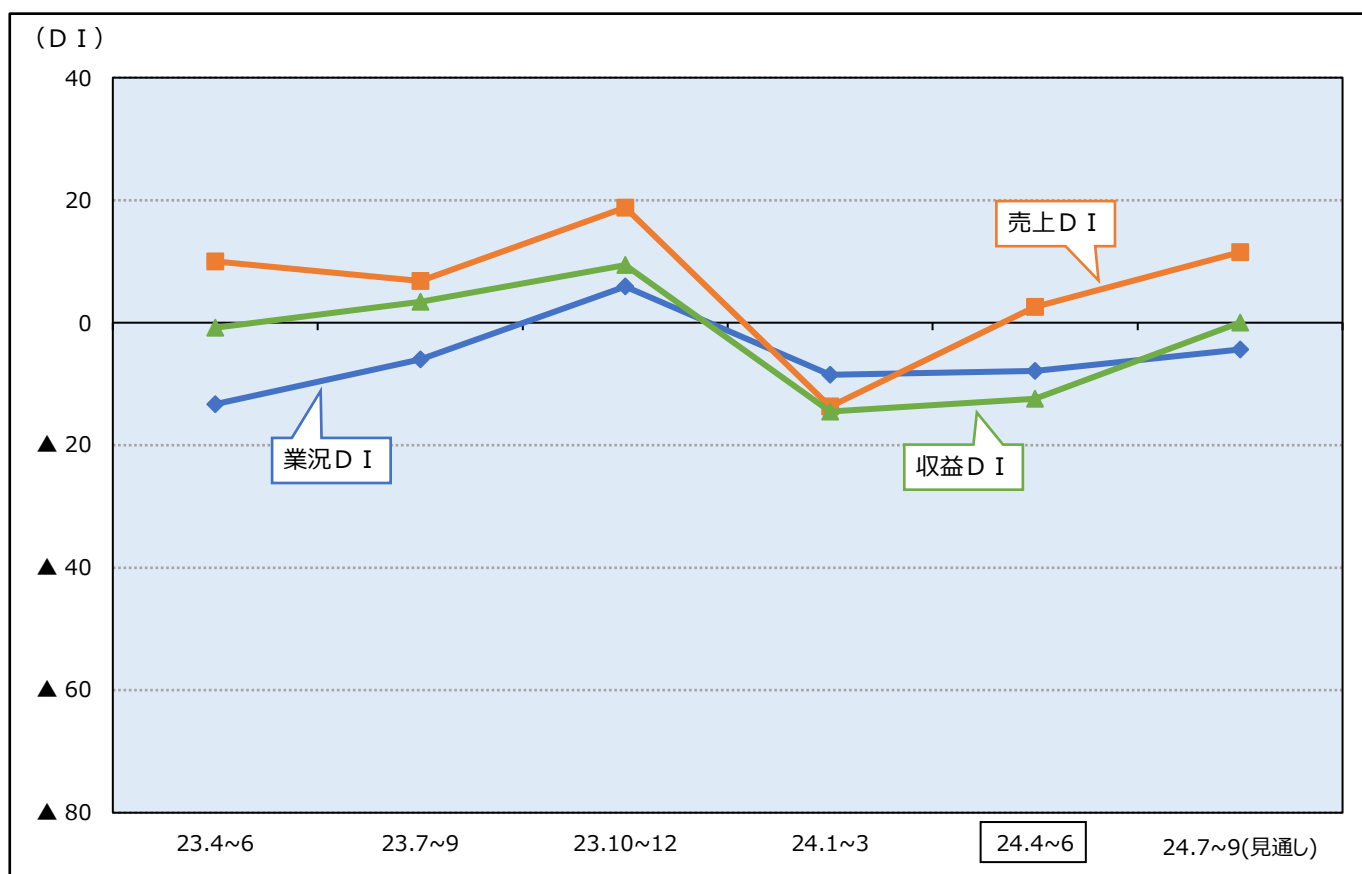
<業況・売上・収益>

今期（4～6 月、以下同じ。）のD Iをみると、業況D Iは前期（1～3 月、以下同じ。）▲8.5 から▲7.9 と、0.6 ポイント改善（前年同期比 5.4 ポイント改善）しました。売上D Iは同▲13.7 から 2.6 と、16.3 ポイント改善（同比 7.4 ポイント悪化）、収益D Iは同▲14.5 から▲12.4 と、2.1 ポイント改善（同比 11.6 ポイント悪化）しました。

全業種総合の来期見通し（7～9 月、以下同じ。）をみると、業況D Iは今期▲7.9 から▲4.4 と、今期実績比 3.5 ポイント改善の見通しとなりました。売上D Iは同 2.6 から 11.5 と、同比 8.9 ポイント改善、収益D Iは同▲12.4 から 0.0 と、同比 12.4 ポイント改善の見通しとなりました。

■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移 ■

	23.4～6	23.7～9	23.10～12	24.1～3	24.4～6	24.7～9 見通し
業 況 D I	▲13.3	▲6.0	5.9	▲8.5	▲7.9	▲4.4
売 上 D I	10.0	6.8	18.8	▲13.7	2.6	11.5
収 益 D I	▲0.8	3.4	9.4	▲14.5	▲12.4	0.0

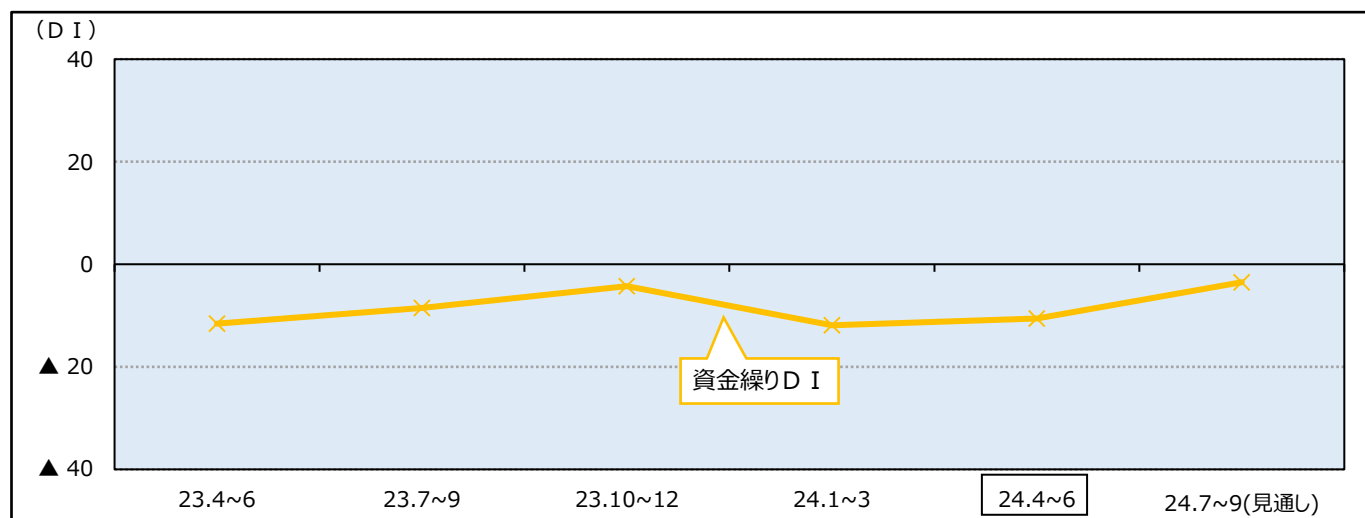


<資金繰り>

今期の資金繰りD Iは前期▲11.9 から▲10.6 と、1.3 ポイント改善（前年同期比 1.0 ポイント改善）しました。また、来期は▲3.5 と、今期実績比 7.1 ポイント改善の見通しとなりました。

■ 資金繰りD Iの時系列推移 ■

	23.4～6	23.7～9	23.10～12	24.1～3	24.4～6	24.7～9 見通し
資 金 繰 り D I	▲11.6	▲8.5	▲4.3	▲11.9	▲10.6	▲3.5



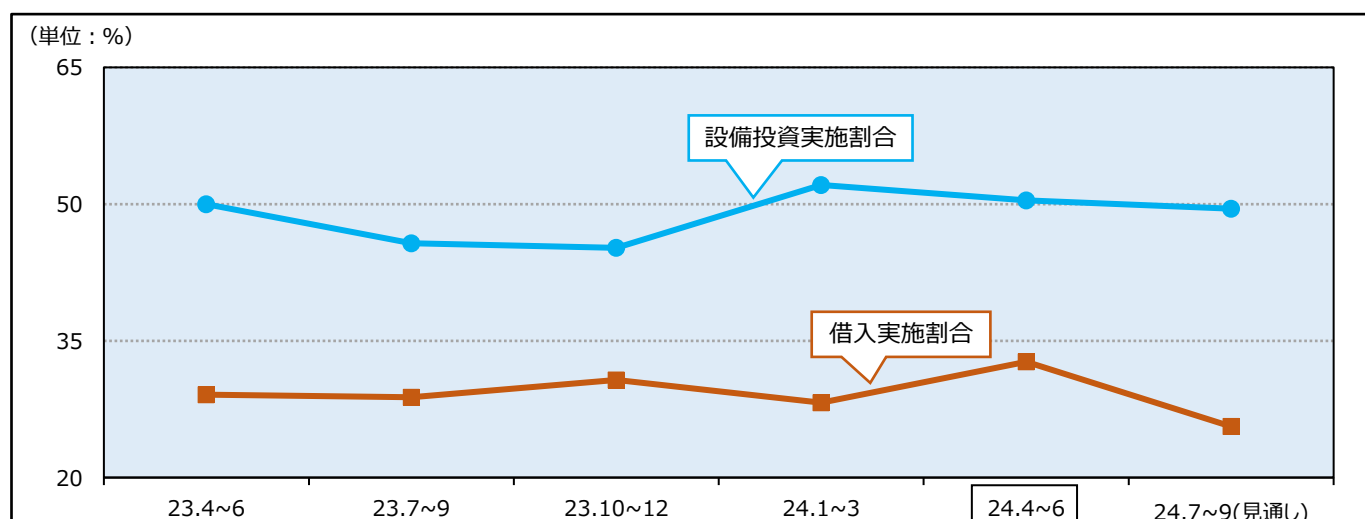
<設備投資・借入動向>

今期の不動産業を除いた設備投資実施企業割合は、前期 52.1%から 50.4%と、前期比 1.7 ポイント低下（前年同期比 0.4 ポイント上昇）しました。また、来期は 49.5%と、今期実績比 0.9 ポイントの低下が見込まれます。

全業種総合の借入実施企業割合は、前期 28.2%から 32.7%と、前期比 4.5 ポイント上昇（前年同期比 3.6 ポイント上昇）しました。また、来期は 25.6%と、今期実績比 7.1 ポイントの低下が見込まれます。

■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移 ■

	23.4～6	23.7～9	23.10～12	24.1～3	24.4～6	24.7～9 見通し
設備投資実施割合	50.0%	45.7%	45.2%	52.1%	50.4%	49.5%
借 入 実 施 割 合	29.1%	28.8%	30.7%	28.2%	32.7%	25.6%



製造業

■ 主要D Iの推移 ■

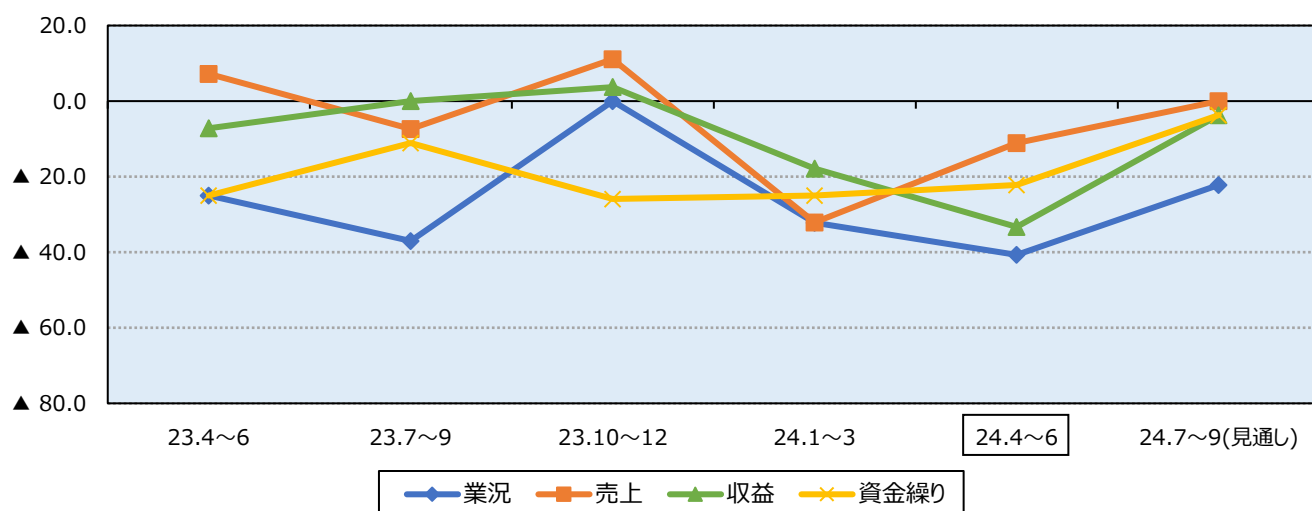
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲25.0	▲32.2	▲40.7	▲22.2
売 上	7.2	▲32.1	▲11.1	0.0
収 益	▲7.2	▲17.9	▲33.3	▲3.7
資 金 繰 り	▲25.0	▲25.0	▲22.2	▲3.7

【今期】

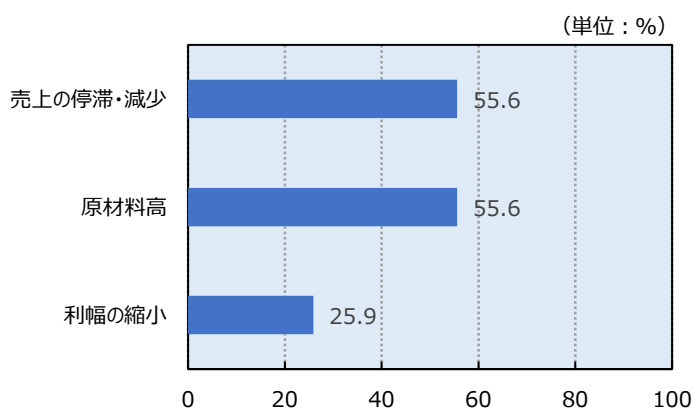
前期比で、業況D Iと収益D Iが悪化、売上D Iと資金繰りD Iが改善しました。前年同期比では、資金繰りD Iを除いて悪化しました。

【来期】

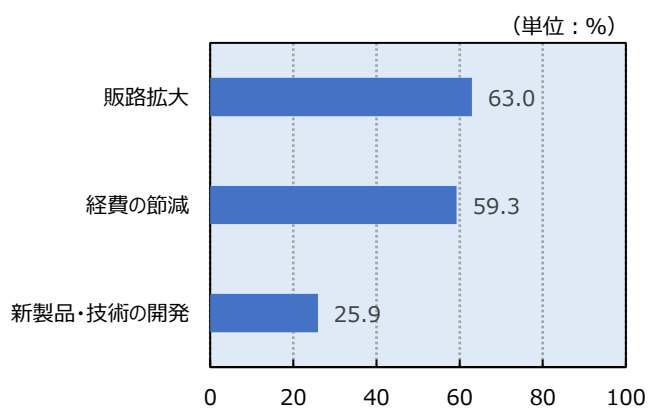
今期実績比で、すべてのD Iが改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 新年度より、1～5%程度の賃上げを実施した。（精密製品）
- 展示会への参加等、精力的に営業活動を行っている。（精密機械部品）

卸 売 業

■ 主要D Iの推移 ■

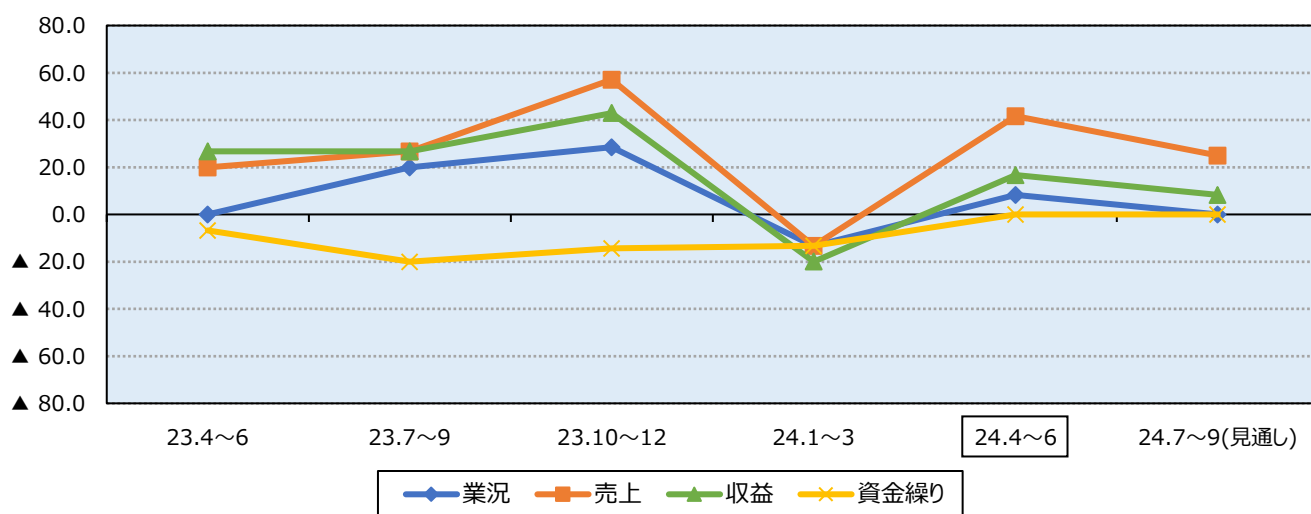
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	0.0	▲13.4	8.3	0.0
売 上	20.0	▲13.3	41.7	25.0
収 益	26.7	▲20.0	16.7	8.3
資 金 繰 り	▲6.7	▲13.3	0.0	0.0

【今期】

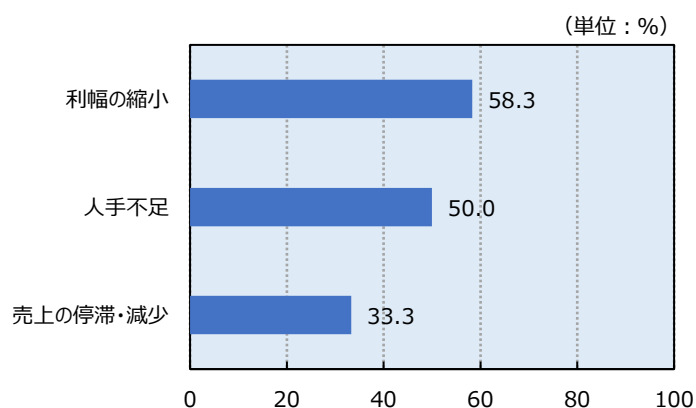
前期比で、すべてのD Iが改善しました。特に、売上D Iで同比 55.0 ポイントと大きく改善しました。前年同期比では、収益D Iを除いて改善しました。

【来期】

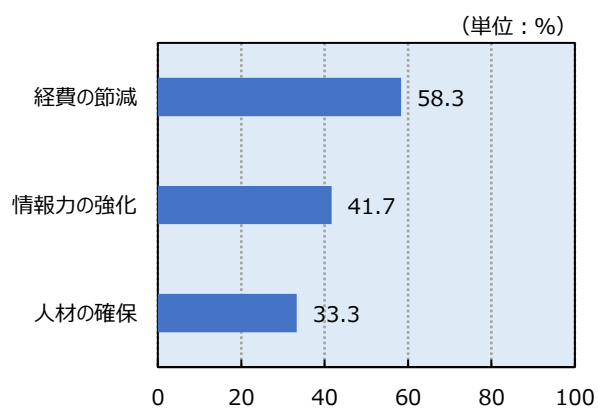
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 仕入価格の上昇が続いており、価格転嫁を早急に行う必要がある。(建築資材)
- 人材が定着せず、人手不足が常態化している。(美容製品)

小 売 業

■ 主要D Iの推移 ■

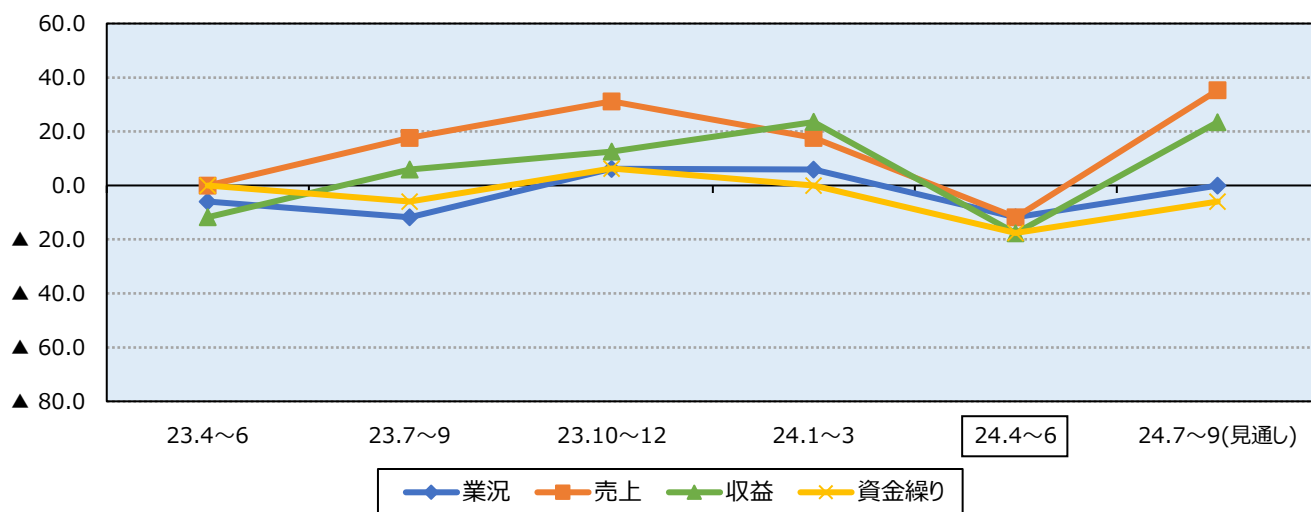
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲5.9	5.9	▲11.8	0.0
売 上	0.0	17.6	▲11.8	35.3
収 益	▲11.8	23.5	▲17.7	23.5
資 金 繰 り	0.0	0.0	▲17.6	▲5.9

【今期】

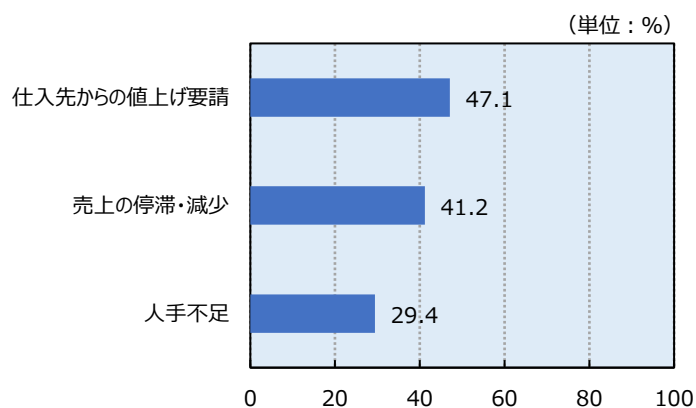
前期比および前年同期比で、すべてのD Iが悪化しました。特に、収益D Iが前期比で41.2ポイントと大きく悪化しました。

【来期】

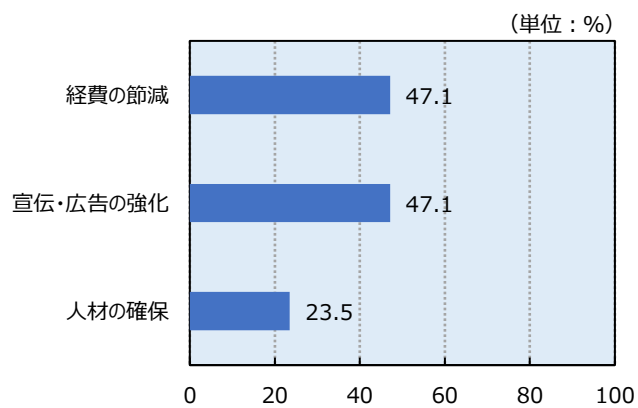
今期実績比で、すべてのD Iが改善の見通しとなりました。特に、売上D Iが同比47.1ポイント、収益D Iが同比41.2ポイントと大きく改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 設備の老朽化による入れ替えのため、補助金の活用を検討している。(発酵食品)
- SNSを活用したPR戦略により、若年層の顧客が増加している。(焼菓子)

サービス業

■ 主要D Iの推移 ■

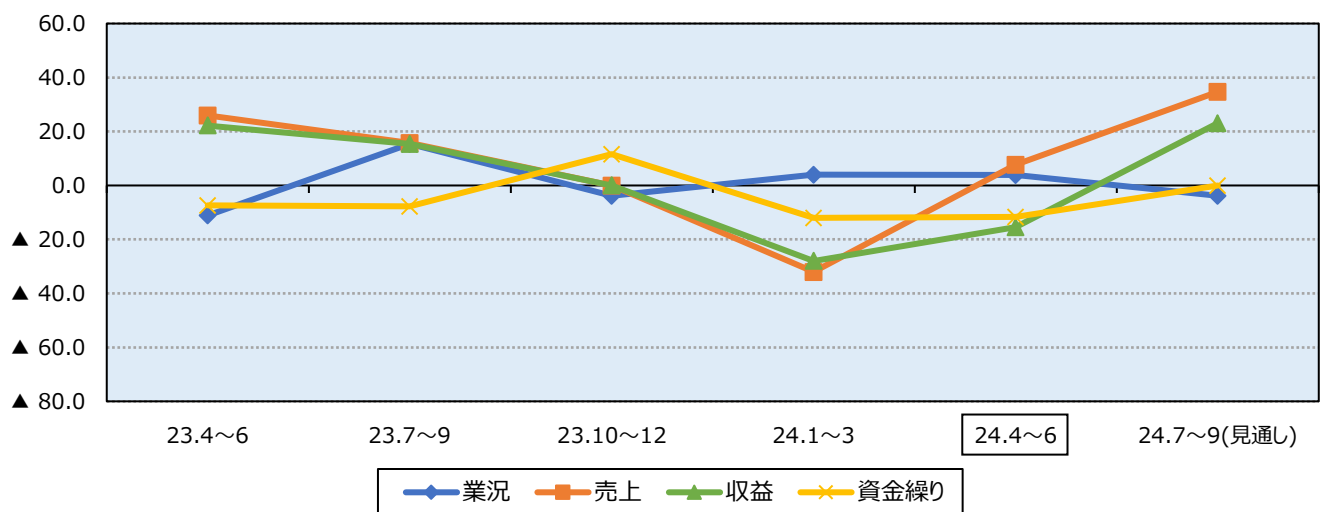
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲11.1	4.0	3.9	▲3.8
売 上	25.9	▲32.0	7.7	34.7
収 益	22.2	▲28.0	▲15.4	23.1
資 金 繰 り	▲7.4	▲12.0	▲11.6	0.0

【今期】

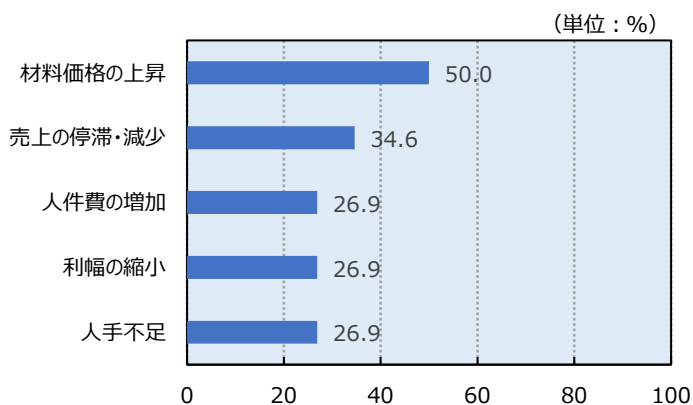
前期比で、業況D Iを除いて改善しました。前年同期比では、業況D Iを除いて悪化しました。

【来期】

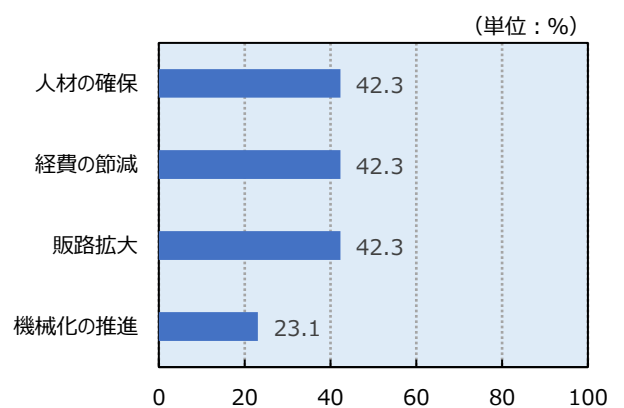
今期実績比で、業況D Iを除いて改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 規制強化による機械の仕様変更や新紙幣の対応等、設備投資が増加する見込みである。（遊技場）
- インバウンドの増加により、売上・利益ともに増加が見込まれる。（宿泊）

建設業

■ 主要D Iの推移 ■

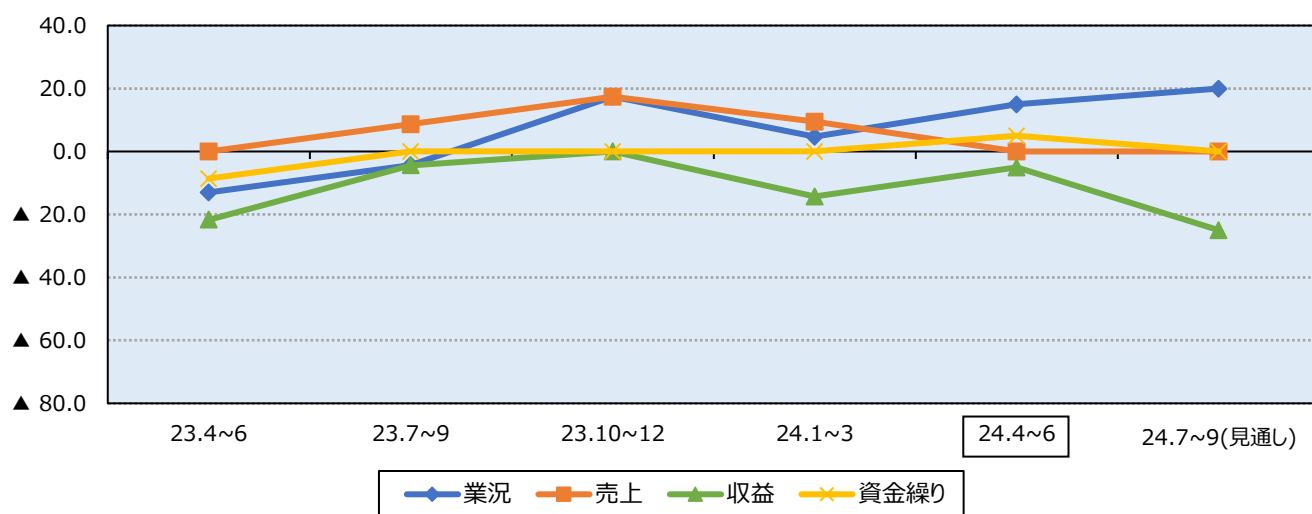
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲13.0	4.7	15.0	20.0
売 上	0.0	9.5	0.0	0.0
収 益	▲21.7	▲14.3	▲5.0	▲25.0
資 金 繰 り	▲8.6	0.0	5.0	0.0

【今期】

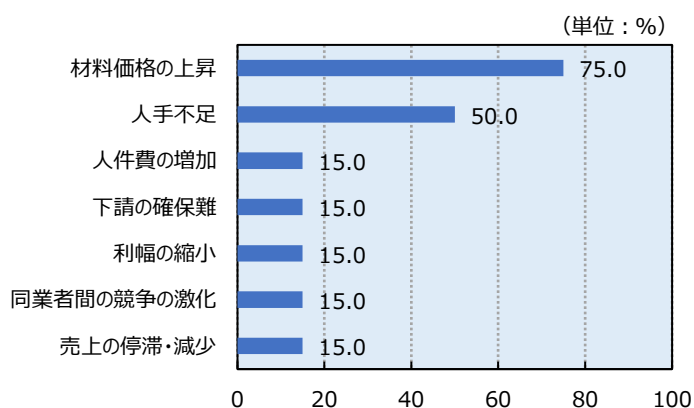
前期比および前年同期比で、売上D Iを除いて改善しました。

【来期】

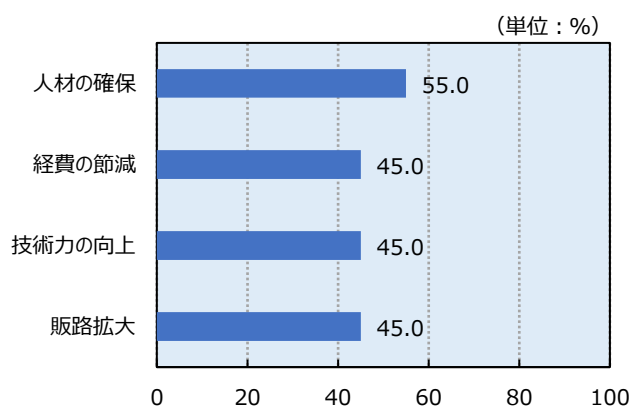
今期実績比で、業況D Iが改善、売上D Iが横這い、収益D Iと資金繰りD Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○下請け業者の確保が以前より困難となっている。(建築・土木工事)

○現場見学会やホームページの作成等、顧客の獲得に注力している。(総合建築)

不動産業

■ 主要D Iの推移 ■

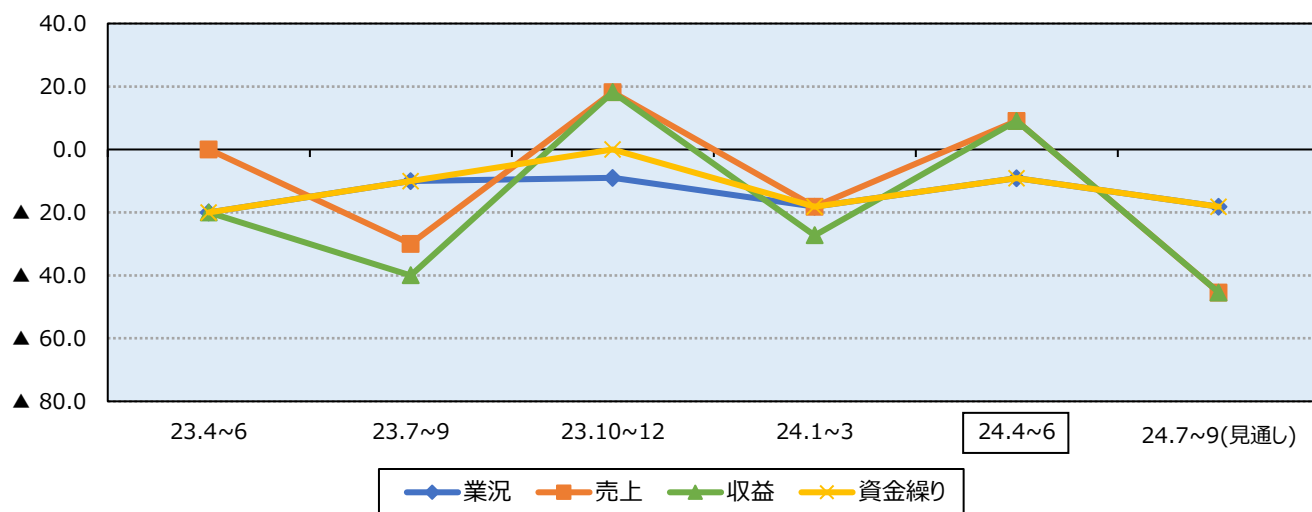
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲20.0	▲18.2	▲9.1	▲18.2
売 上	0.0	▲18.2	9.1	▲45.4
収 益	▲20.0	▲27.3	9.1	▲45.4
資 金 繰 り	▲20.0	▲18.2	▲9.1	▲18.2

【今期】

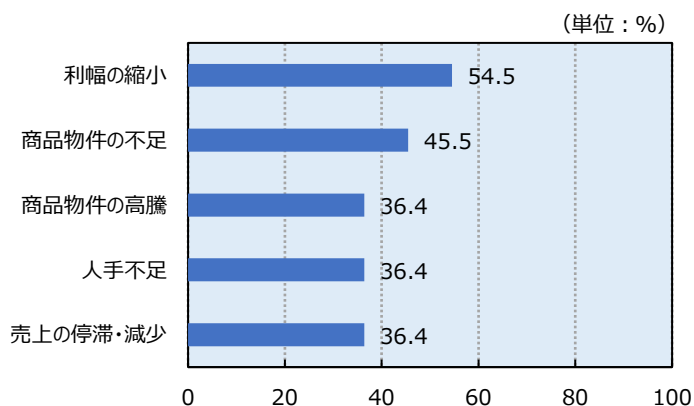
前期比および前年同期比で、すべてのD I が改善しました。

【来期】

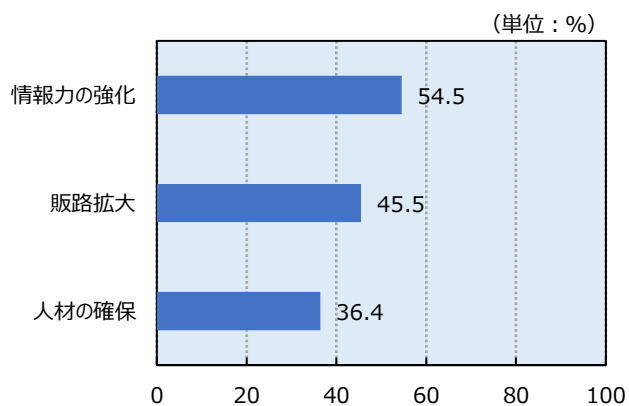
今期実績比で、すべてのD I が悪化の見通しとなりました。特に、売上D I と収益D I で同比 54.5 ポイントと大きく悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

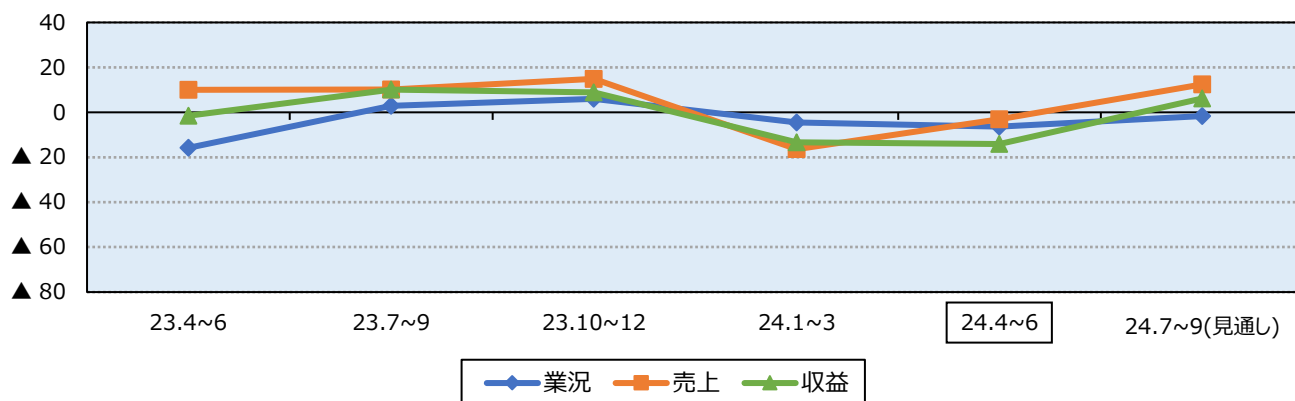
- 建築資材の価格高騰により、建築価格、販売価格ともに上昇が見込まれる。(住宅建築・販売)
- 情報収集に注力し、商品物件の確保および売上増加を図っている。(不動産売買)

<地区別D I の状況>

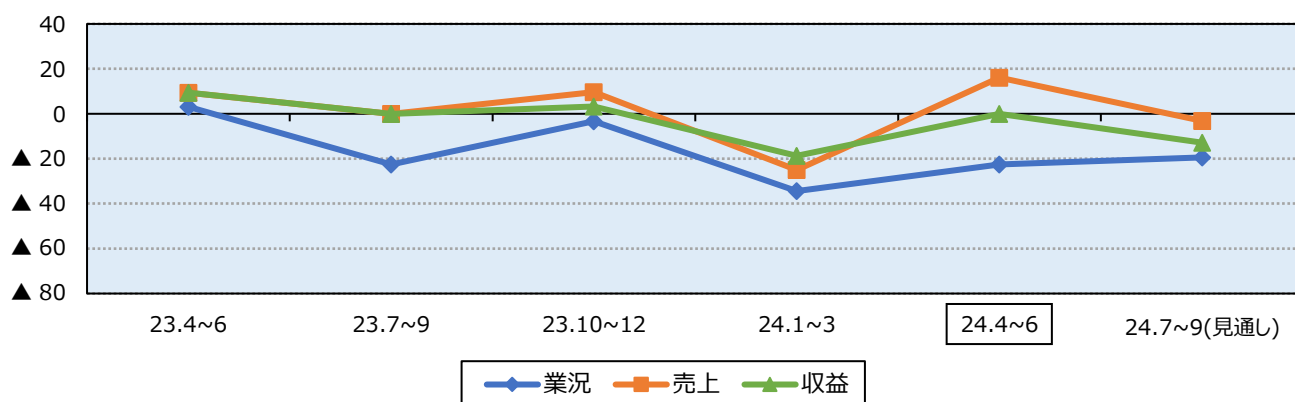
山梨県国中地区と相模原周辺地区では、前期比で業況D Iと収益D Iが悪化、売上D Iが改善しました。東部富士五湖地区では同比ですべてのD Iが改善し、特に売上D Iが同比41.1ポイントと大きく改善しました。前年同期比では、山梨県国中地区と相模原周辺地区で業況D Iが改善、東部富士五湖地区と相模原周辺地区で売上D Iが改善しました。

来期見通しについては、山梨県国中地区ですべてのD I、東部富士五湖地区で業況D I、相模原周辺地区で収益D Iが今期実績比で改善の見通しとなりました。

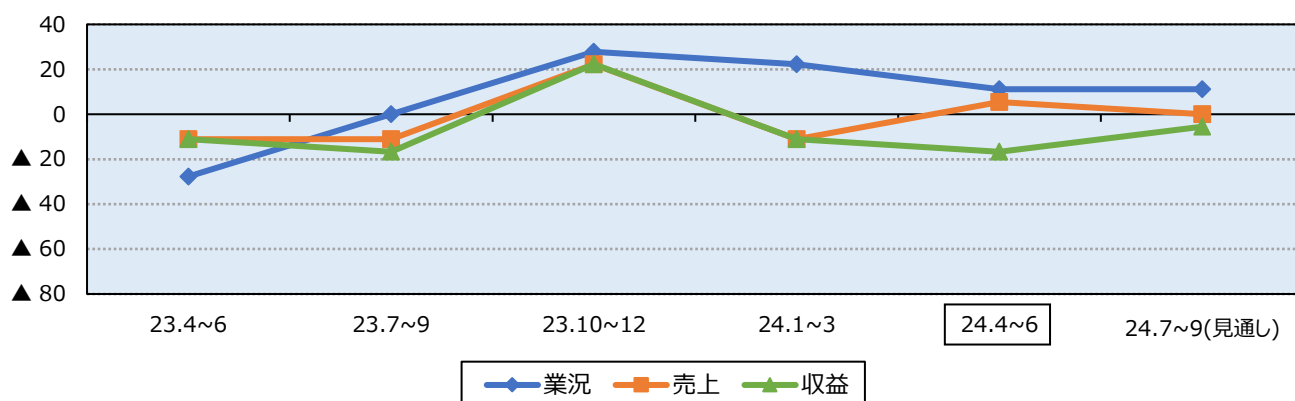
【 山梨県国中地区D I の推移 】



【 東部富士五湖地区D I の推移 】

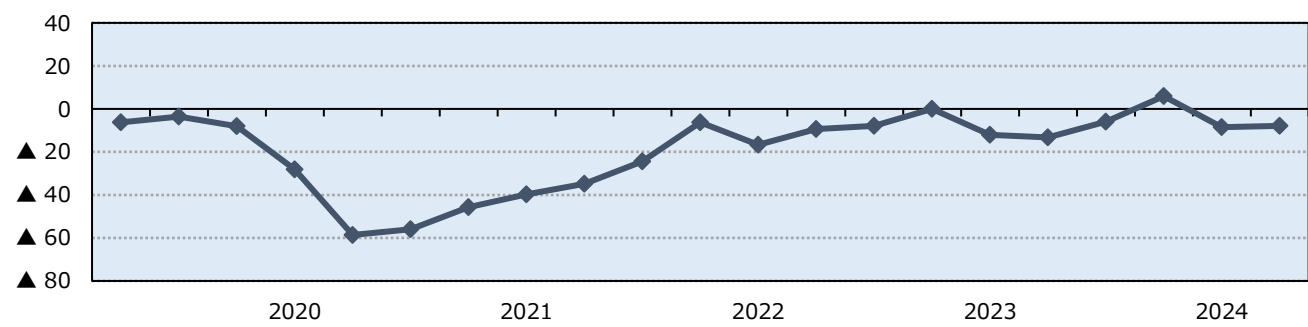


【 相模原周辺地区D I の推移 】

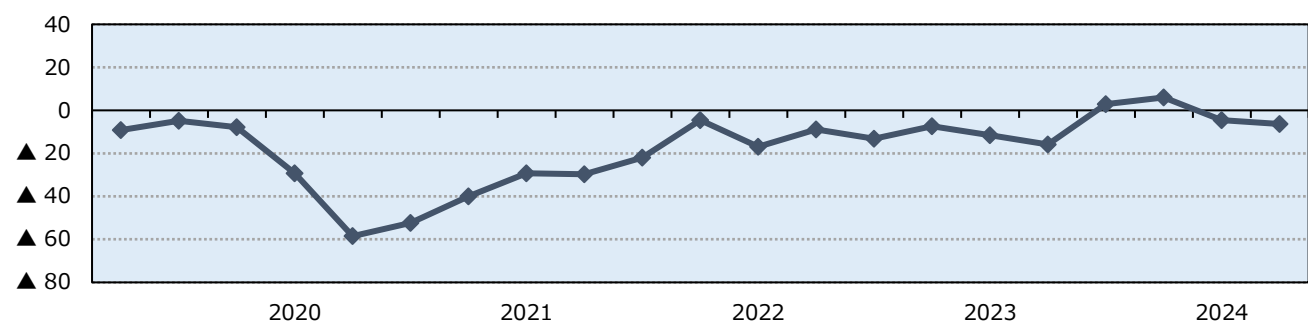


<業況D I の5年間の推移>

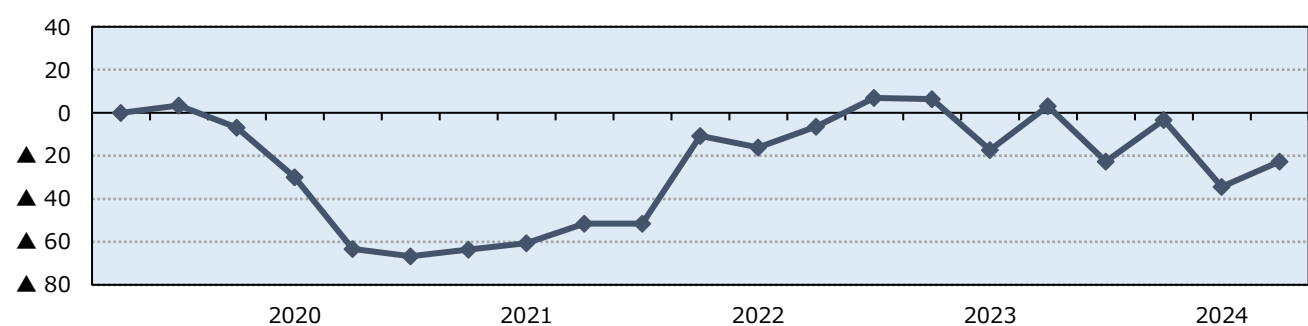
【 総合D I の推移 】



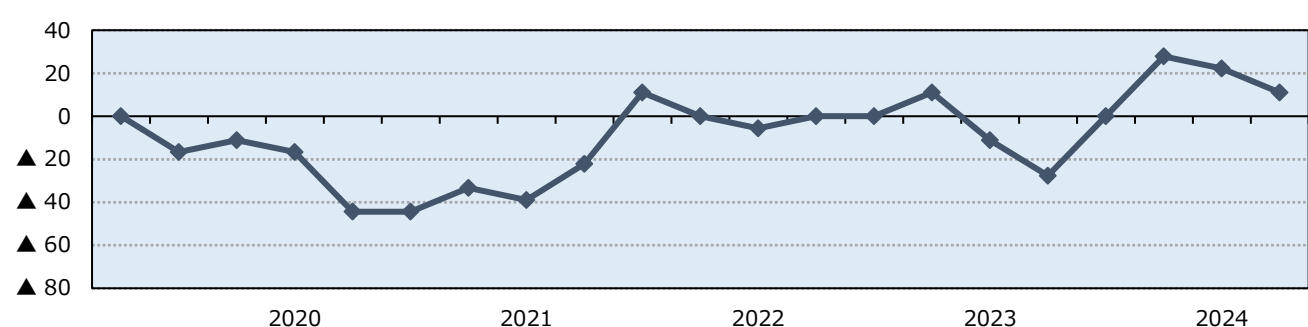
【 山梨県国中地区D I の推移 】



【 東部富士五湖地区D I の推移 】



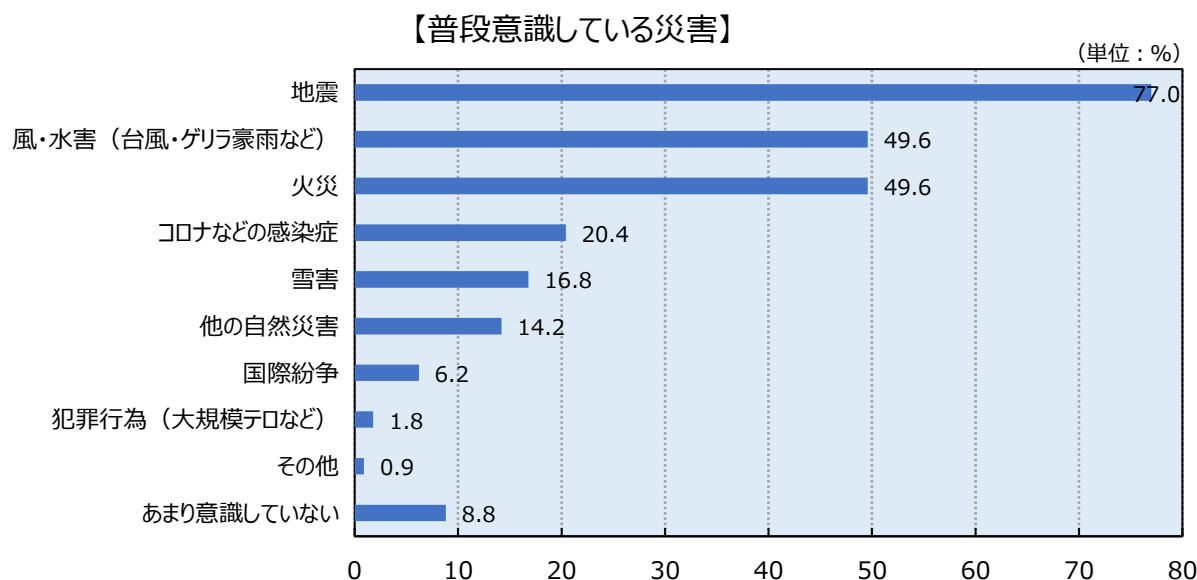
【 相模原周辺地区D I の推移 】



中小企業における災害等への対応について（回答企業：113社）

問1 貴社では、普段どのような災害を意識していますか。

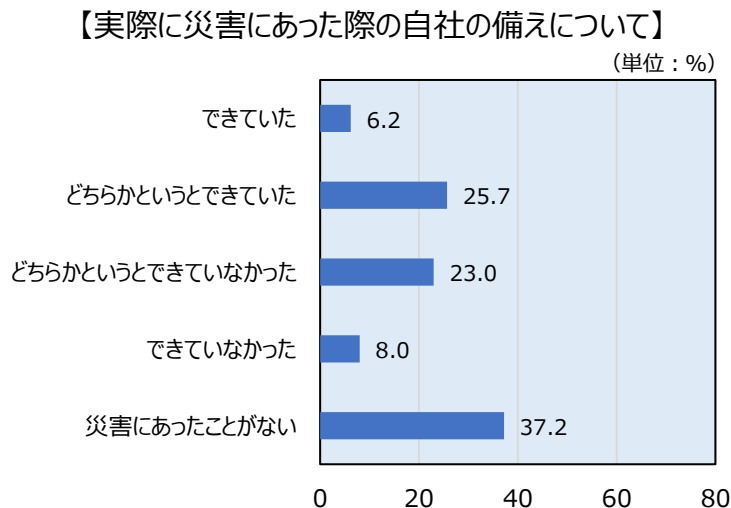
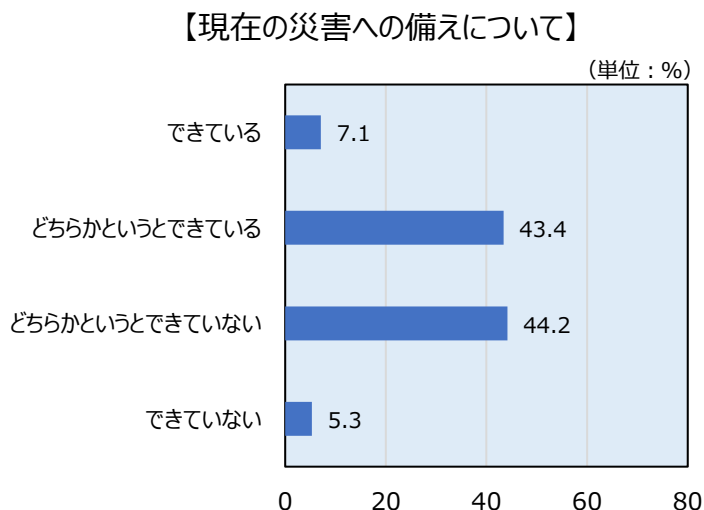
- 「地震」と回答した企業が 77.0%と最も多く、次いで「火災」と「風・水害（台風・ゲリラ豪雨など）」がそれぞれ 49.6%、「コロナなどの感染症」が 20.4%となりました。
- 「あまり意識していない」と回答した企業は 8.8%となりました。



問2 貴社では、自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。

また、実際に災害にあった際、自社のそれまでの備えについてどう感じましたか。

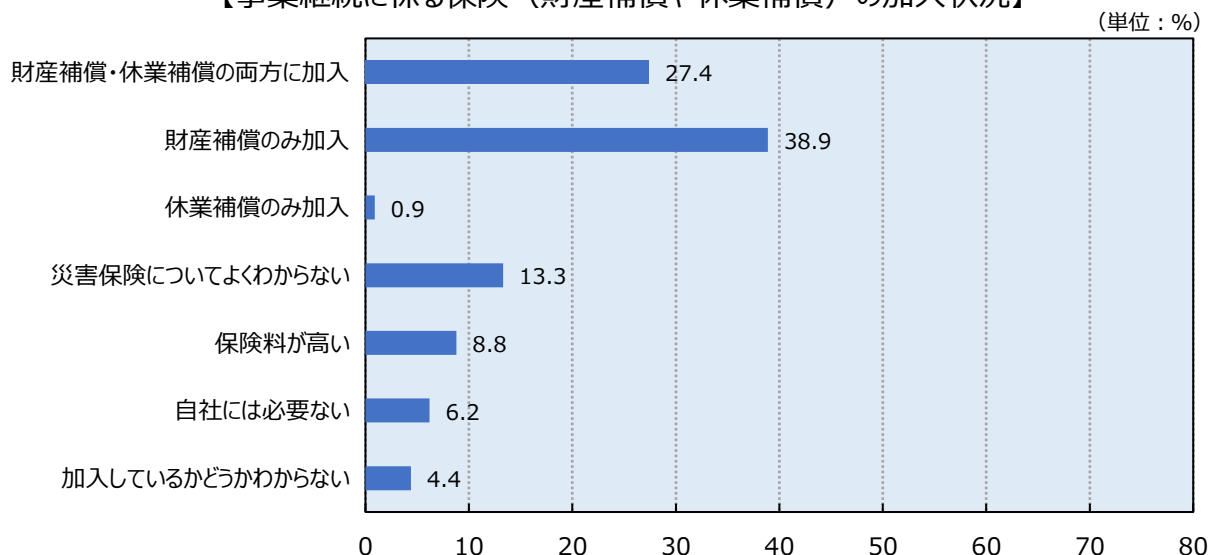
- 自社の現在の災害への備えについて、「できている」または「どちらかというできている」と回答した企業は 50.4%、「できていない」または「どちらかというできていない」と回答した企業は 49.6%となりました。
- 実際に災害にあった際の自社の備えについて、「できていた」または「どちらかというできていた」と回答した企業は 31.9%、「できていなかった」または「どちらかというできていなかった」と回答した企業は 31.0%、「災害にあったことがない」と回答した企業は 37.2%となりました。



問3 貴社では、事業継続に係る保険、具体的には財産補償（設備や店舗が損壊したときの補償）や休業補償（休業を余儀なくされた時の損害の補償）に加入していますか。加入している方はその内容について、加入していない方はその理由についてお答えください。

- 「加入している」と回答した企業は全体の 67.3%で、その内容については「財産補償、休業補償の両方」が 27.4%、「財産補償のみ」が 38.9%、「休業補償のみ」が 0.9%となりました。
- 「加入していない」と回答した企業は全体の 28.3%で、その理由については「災害保険についてよくわからない」が 13.3%と最も多く、次いで「保険料が高い」が 8.8%となりました。

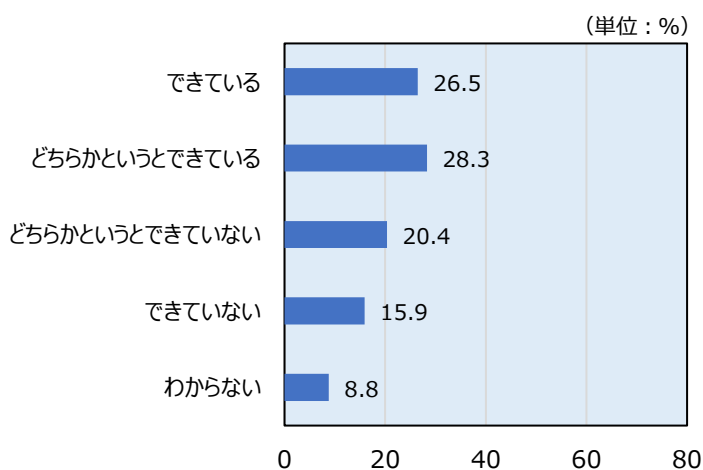
【事業継続に係る保険（財産補償や休業補償）の加入状況】



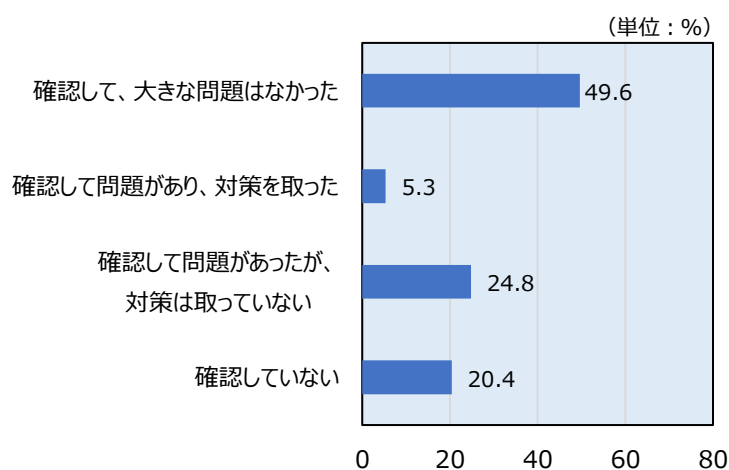
問4 貴社では、使用している建物の耐震について、どのように考えていますか。また、自社所在地周辺ハザードマップ（洪水や土砂災害、地震・津波など）を確認していますか。

- 使用している建物の耐震について、「できている」または「どちらかというときできている」と回答した企業は 54.9%、「できていない」または「どちらかというときできていない」と回答した企業は 36.3%となりました。
- 自社所在地周辺ハザードマップの確認について、「確認して、大きな問題はなかった」と回答した企業が 49.6%、「確認して問題があり、対策を取った」が 5.3%、「確認して問題があったが、対策は取っていない」が 24.8%、「確認していない」と回答した企業は 20.4%となりました。

【建物の耐震について】



【ハザードマップの確認について】

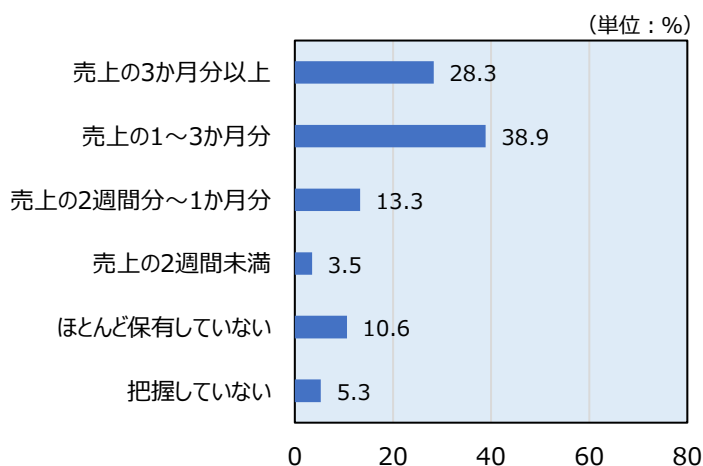


問5 災害時への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことが BCP 策定基準などで推奨されています。貴社では、通常、現預金をどの程度保有していますか。現預金の保有が最も少ない時期（売掛金の回収直前など）を想定したうえで教えてください。

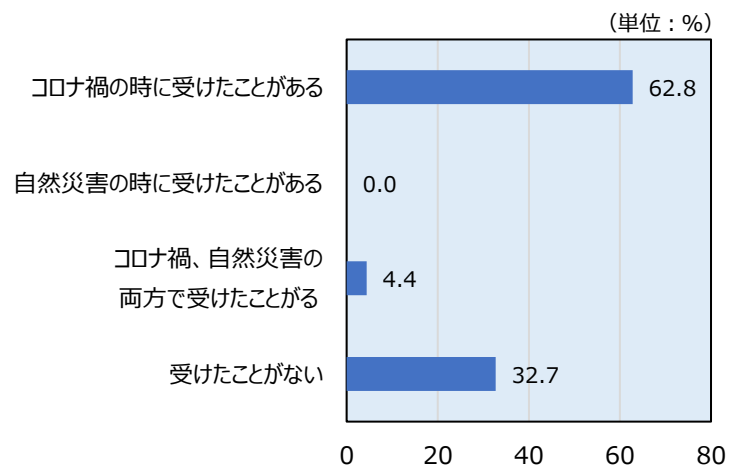
また、貴社では、自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援（災害復旧貸付やセーフティネット保証 4 号など）を受けたことがありますか。

- 現預金の保有状況について、「売上の 1～3 か月分」と回答した企業が 38.9%と最も多く、次いで「売上の 3 か月分以上」が 28.3%、「売上の 2 週間分～1 か月分」が 13.3%となりました。
- 災害対策金融支援について、「コロナ禍の時に受けたことがある」と回答した企業が 62.8%、「コロナ禍、自然災害の両方で受けたことがある」が 4.4%、「受けたことがない」が 32.7%となりました。

【現預金の保有状況について】



【災害対策金融支援について】



★地域のイベント情報

みんなの津久井湖夏祭り（開催日：8月11日）

⇒お祭りゲームコーナーや屋台、キッチンカーが集合するほか、城山町祭囃子連絡協議会による演奏も行われる。翌12日の朝にはボランティアによる『みんなでゴミ拾い』も行われる。

会場：津久井湖城山公園水の苑地

交通アクセス：JR または京王線橋本駅からバスで約20分

武田陣没将士供養会・武田の里にらさき花火大会（開催日：8月16日）

⇒武田家ゆかりの寺社で採火された聖火が、提灯行列となって会場に運ばれ、武田家に仕えた累代陣没将士の精霊を慰める供養会が願成寺で執り行われる。供養会を終えて開催する花火大会では、約7千発の花火が盛大に打ち上がる。

会場：釜無川河川公園

交通アクセス：中央道韭崎ICより車で約10分

大弐学問祭（開催日：9月23日）

⇒甲斐市出身の偉人「山県大弐」の遺徳を偲び、毎年秋分の日に山縣神社を会場に行われている。当日は学問成就祈願を始め、仮装行列や神輿が練り歩くなど、山縣神社参道に一大絵巻を繰り広げる。

会場：山縣神社周辺（甲斐市篠原）

交通アクセス：中央自動車道昭和ICより車で約10分

編集後記

このたびの中小企業景気動向調査については、お忙しい中、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今期のD I 調査では、総合ですべてのD I が前期（1月～3月）比で改善しましたが、業況D I ・収益D I ・資金繰りD I は前期に引き続きマイナス値となりました。業種別では、製造業と小売業ですべてのD I がマイナス値となりましたが、卸売業では比較的高い水準となっています。

特別調査では、「中小企業における災害等への対応について」と題し調査しました。普段意識する災害については、「地震」と回答した企業が77%で最も多く、次いで「火災」と「風・水害」がそれぞれ50%程度となりました。また、使用する建物の耐震について「できている」または「どちらかというできている」と回答した企業は約55%、自社周辺のハザードマップについて確認した企業は約80%で、そのうち「大きな問題はなかった」または「問題があり、対策を取った」と回答した企業は、全体の約55%となりました。

当金庫では、お客さまの資金繰り支援はもとより、本業支援にも積極的に取り組んでおります。経営に関する様々な相談を受け付けており、外部専門機関との連携等を通じた情報提供や課題解決に注力しております。ぜひ、お近くの営業店や担当者までご相談ください。